

災害が起きても困らないために～薬の備え方～

国保和良診療所 看護師
川尻佐知子

皆さんは災害時の備えをしていますか？



突然の地震や豪雨など災害はいつ起こるか分かりません。

そんなとき、病院へ行けない。薬局が開いていない…。

「いつもの薬が手に入らない！」という状況は特に持病がある方にとって命に関わります。



そこで災害が起きても困らないように「薬の備え方」についてご紹介します。

備え① お薬手帳を活用しよう

災害時は停電などで病院の電子カルテが使用できなくなります。お薬手帳に既往歴や緊急連絡先なども記入しておくと「命を守る手がかり」になります。

コピーをとって防災バッグに入れたりスマホで撮影しておくと安心です。

備え② 薬を切らさない工夫をしよう

「いつもの薬が数日分あれば…」という声を災害時によく聞きます。普段から薬を少し多めに持ち、薬が古くならないように気を付けましょう。
かかりつけ医に相談し、無理のない範囲で備えましょう。

備え③ 家族や周囲と情報共有しよう

薬の名前や保管場所、かかりつけ医など家族で共有しましょう。

薬は命とつながっています。

小さな備えがいざという時の「大きな安心」になります。



インフルエンザ・コロナウィルス接種の予約を受け付けています！

接種期間 令和7年11月10日（月）～令和8年1月30日（金） ※要予約

インフルエンザ・コロナウィルスの予約・接種料金の確認等は下記の連絡先までご連絡ください。

電話番号：0575-77-2311

予約可能時間：平日 午後1時30分～午後5時まで